SAMSUNG TECHWIN

High Resolution 37X Zoom Color Camera

取扱説明書

SCZ-3370

高解像度37倍速
取扱説明書

商標について

SAMSUNG TECHWIN SAMSUNG は Samsung Techwin Co., Ltd. の商標登録されたロゴです。
この製品の名称はSamsung Techwin Co., Ltd.の登録商標です。
このマニュアルに記載のその他の商標はそれぞれの会社の登録商標です。

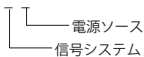
制約について
本取扱説明書に記述される取扱説明は著作権法で保護されています。
従ってSamsung Techwin社の了解なしに著作権法で許される範囲の複写を除き、取扱説明書の一部あるいは全部の複写及び複製は禁じられています。

免責事項について
Samsung Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。 この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。 本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

このカメラを操作する前に、カメラのモデルおよび供給電源方式が正しいことを確認してください。
このマニュアルの理解を助けるため、モデルの表記について説明します。

■ SCZ-3370 シリーズ
• NTSCモデル
  SCZ-3370N
  SCZ-3370ND

■ モデルの表記
• SCZ-3370X X

電源ソース
信号システム

● 信号システム
  N → NTSCモデル

概要

注意

感電の危険性あり
開けないでください

注意	感電のリスクを避けるため、カバー(または裏面)を取り外さないでください。指定部品以外は使用できません。修理については、資格のあるサービススタッフにお問い合わせください。

この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。

この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って床/壁にしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタのみを使用してください。
   他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続したり、バッテリの取替えを誤ると爆発、火災、感電、製品の故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。 許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかり差し込んでください。 接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. メラを設置する際、安全にしっかりと固定してください。 カメラの落下は人身傷害の原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など）や水の入った容器を置かないでください。 火災、感電、物体の落下に起因する人身傷害を招くことがあります。

7. 本製品を湿気や埃、すすのある場所に設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。

8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。 このような場合にはただちに電源をオフにして、サービスセンターにお問い合わせください。 このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。

9. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。 本製品は絶対に分解または改造しないでください。 (サムスン社は未許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)

10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(50°C以上)、低温(-10°C以下)、高湿度の場所に設置しないでください。 火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置し直してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 Neglecting to do この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. K直射日光や放熱源に近づけないでください。 火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CCDイメージセンサーに損傷を与える可能性があるので太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたりせず、また瓶のように液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 分離可能な電源プラグを利用し、いつでも利用できるように用意されています。
10. カメラを屋外で使用すると、屋内と屋外で温度差が生じるためカメラ内に結露が発生する可能性があります。 このため、カメラは屋内に設置することをお勧めします。 屋外でご使用になる場合は、ファンやヒーターを内蔵したカメラをご使用ください。

概要

FCC（連邦通信委員会）声明

本製品はFCC規則第15章に適合しています。操作は以下の2つの条件を前提とします。

1) 本製品が有害な電波妨害を引き起こさないこと。

2) 本製品は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

注意

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件にもとづいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規制要件は装置が商用環境で使用される際に有害な電波妨害に対する適切な保護を提供するために考案されました。
T本製品は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置、使用しないと無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域における本製品の使用によって有害な電波妨害を引き起こすことがあり、その場合ユーザーは自己負担で電波妨害の問題を解決しなければなりません。

Samsung Techwin社は、全ての製品に関して環境条件を考慮して製造し、多くのステップを経て、環境に優しい製品を供給しています。Ecoマークは環境に優しい製品を製造するSamsung Techwin社の意思を示すもので、EU RoHS指令に適合する製品であることを示します。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。 メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
9. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。 カート使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。

11. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、カメラコントローラの電源プラグを抜いてください。
12. すべての修理は資格のあるサービススタッフに任せてください。 電源コードまたはプラグが損傷した、装置内に液体がこぼれた、あるいは異物が混入した、製品を雨または湿気に曝した、正常に動作しない、あるいは落としたなど、装置になんらかの損傷を与えた場合は、修理を依頼してください。

目次

はじめに

特徴

- **37倍速光学ズーム**
  内蔵SCZ -3370光学ズームレンズは高耐久性コンポーネントです。 オートフォーカス、自動絞り、およびズーム機能を備えています。
- **高解像度**
  410k（NTSC）ピクセルの高解像度CCDが採用されているため、画像は鮮明でくっきりしています。
- **DIS（デジタル手ブレ補正）**
  デジタル手ブレ補正によってカメラのブレが補正されるため、取り込まれる画像の質が向上します。
- **SSNR3（Samsungスーパーノイズリダクション）**
  高性能なSV-V DSPチップは、暗い光源時のゲイン上昇によるノイズとゴーストを効果的に解消して、暗い環境でも鮮明な画像を提供します。
- **昼/夜（ICR）**
  このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。 COLORモードは昼間の環境で動作して最適なカラーを提供し、BWモードは夜間の環境で動作して画像の解像度を高めます。
- **INTELLIGENCE**
  モーションが検知されると、カメラから警報信号をアラーム端子に出力する事が出来ます。このアラーム情報を使用する事により、対象領域を効率良く監視することが出来ます。
- **SSDR（Samsungスーパーダイナミックレンジ）**
  逆光のように難しい光源状態であるために明るいエリアと暗いエリアの間でコントラストが強い画像の場合、明るい方のエリアでは同じ光レベルを保持しながら、暗いエリアを明るくすることで全体的な明るさを均等にします。
- **ワイドダイナミックレンジ（WDR）**
  このカメラは、SV-V DSPチップを採用し、露出を暗いエリアで大きくして明るいエリアで小さくすることで、逆光でも鮮明で高品質の画像を提供します。
- **VPS（仮想プログレッシブスキャン）**
  インタレース方式の映像の欠点を補完する機能で、30フレームのプログレッシブスキャン方式の画像に変換します。静止画での横ブレが改善する為、PC等での利用に適します。
- **PIP（ピクチャーインピクチャー）**
  PIPを使用すると、メイン画像とともにメイン画像の縮小バージョンを表示することができます。
- **その他の機能**
  同期、感度アップ、反転（H/V-REV）、D-ZOOM、およびプライバシー機能が用意されています。

はじめに

キット内容

※ フロントカバーリングはカメラハウジングとともに使用する前に装着してください。

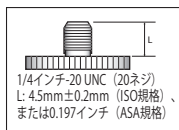
部品の名称および機能

上部

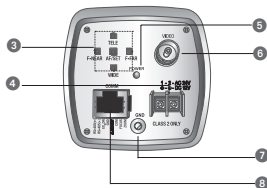
下部

❶ **ホルダーの穴:**
ホルダーをカメラの上部に取り付ける場合、前もってホルダーの下部にある工場出荷時のネジを緩めてください。

❷ **ブラケットの穴:**
カメラをブラケットに取り付ける場合に使用してください。取付け穴は１個のみに変更しています。
この穴に使用可能なネジは、次の仕様を満たしている必要があります。

1/4インチ-20 UNC（20ネジ）
L: 4.5mm±0.2mm（ISO規格）、
または0.197インチ（ASA規格）

■ ブラケットはカメラの上部に取り付けてください。 パッケージに含まれているネジまたはこれと同等のネジ (6mm未満) を使用してください。 そうでない場合、ブラケットをカメラに正しく取り付けられない可能性があります。

はじめに

底面図

❸ **主なボタン**

次のボタンは、ズーム、フォーカス、およびオートフォーカス機能を制御します。

- SET (AF): 3 秒間以上押し続けてメニューを表示します。 選択した項目の値を変更したり、モードを変更して変更内容を確認する場合に使用します。 このボタンを押して離すことにより、自動フォーカスを実行します。
- 上 (TELE) / 下 (WIDE) : メニュー項目を目的の位置に移動したり、ズーム倍率を調整する場合に使用します。
- 左 (F-NEAR) / 右 (F-NEAR) : 選択した項目を変更したりフォーカスを調整する場合に使用します。

❹ **電源入力端子**

電源供給端子（DCタイプ: DC12V±10% デュアルタイプ: DC12±10%/AC24V±10%）

❺ **電源LED**

電源が供給されているときに点灯します。

❻ **ビデオ出力ジャック**

外部ビデオモニターの入力コネクターに接続する場合に使用します。

❼ **GND**

外部デバイスの接地端子です。

❽ **RJ-45ジャック**

RS-485通信、MD OUT、ZOOM、FOCUS、およびEX_DNなどの端子があります。

接続

モニターへの接続

次に示すようにビデオ出力コネクターをモニターのビデオ入力コネクターに接続します。

- 接続方法はビデオ機器によって異なる場合があります。モデル固有の取扱説明書を参照してください。
- 電源を遮断した状態でケーブルを製品に接続してください。

電源への接続

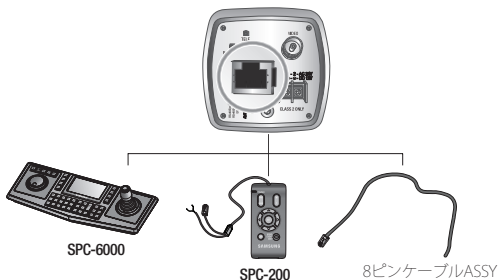
DCタイプ: DC 12V、500mA

デュアルタイプ: DC 12V、500mA/AC24V、500mA

- 設置が完了した後に電源を接続してください。
- 直流電源にはプラスとマイナスがあります。'+'端子と'-'端子を正しく合わせてください。

接続

8ピン制御端子への接続

このカメラは、リモコン（RS-485通信）などの外部コントローラを使用して制御できます。

* 8P Control Terminal Configuration

PIN番号	名前	ケーブルの色	説明	PIN番号	名前	ケーブルの色	説明
1	ZOOM	オレンジ	-	5	GND	青	-
2	FOCUS	白/オレンジ		6	EX DN	白/青	外部D/N
3	COM	緑		7	485+	茶	RS-485通信
4	ALARM OUT	白/緑		8	485-	白/茶	RS-485通信

コネクタ	機能	信号レベル	I/O
ZOOM	Tele	+6V ~ +12V COM	I
	Wide	COM -6V ~ -12V	
FOCUS	Far	+6V ~ +12V COM	I
	Near	COM -6V ~ -12V	
COM		COM	-
ALARM OUT		0V 5±0.5秒 USER Vcc (3V~5V)	O
EX DN		DAYモード: D&N端子がopen状態の時。（この時、電圧を印加しないでください） NIGHTモード: D&N端子とGND端子間がClose状態の時。	I

- レシーバーボックス (SRX-100B) を使用して電圧制御ZOOMおよびFOCUSを使用する場合、RS-485 (+) (-)通信回線を同時に接続しないでください。
- ALARM出力形式はオープンコレクタです。 ﾌﾟﾙｱｯﾌﾟ 抵抗が必要です。

* 有線コントローラ (SPC-200) またはSPC-6000を使用する場合、デバイス間の通信設定を合わせてください。

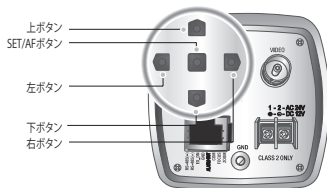
項目	SPC-200	SPC-6000（工場出荷時）
MODE	シリアル	シリアル
データビット	8ビット	8ビット
ビット/秒	9600bps	9600bps
パリティ	EVEN	NONE
CAM ID NO.	0	1~255
RETURN PACKET	ENABLE	SPC-6000マニュアルを参照してください。

カメラの操作

メニュー設定

MAIN設定メニュー	
SSDR	● ON ● OFF
WHITE BAL	● ATW ● MANUAL ● AWC→SET ● OUTDOOR ● INDOOR
逆光補正	● OFF ● BLC ● HLC ● WDR
INTELLIGENCE	● OFF ● ON
FOCUS↵	● モード ● ZOOM TRACK ● ZOOM 速度 ● D-ZOOM ● ZOOM 位置初期化 ● USER PRESET ● レンズ初期化 ● 戻る
露出補正↵	● BRIGHTNESS ● IRIS ● SHUTTER ● AGC ● SSNR3 ● SENS-UP ● 戻る
SPECIAL↵	● VPS ● PRIVACY ● DAY/NIGHT ● DIS ● SYNC ● 通信設定 ● IMAGE 機能 ● DISPLAY ● 戻る
RESET	
戻る	

メニュー設定

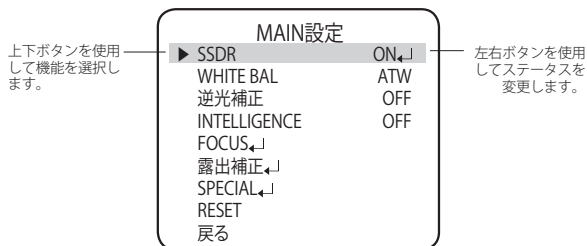
カメラの背面にある5つのボタンを使用します。

1. SETボタンを 3 秒間以上長押しします。(ボタンを押す時間が短いとAUTO FOCUSが有効になります)。

• MAIN設定メニューがモニター画面に表示されます。

上下ボタンを使用して機能を選択します。

MAIN設定

▶	SSDR	ON↵
	WHITE BAL	ATW
	逆光補正	OFF
	INTELLIGENCE	OFF
	FOCUS↵	
	露出補正↵	
	SPECIAL↵	
	RESET	
	戻る	

左右ボタンを使用してステータスを変更します。

2. 上下ボタンを使用して目的の機能を選択します。

3. 左右ボタンを使用して、選択した機能のステータスを変更します。

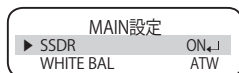
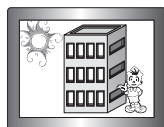
4. 終了時は、矢印インジケータを'戻る'に移動し、SETボタンを押します。

■ ↵でマークされた機能には、アクセス可能なサブメニューがあります。

■ - - - アイコンが表示された項目は、機能設定により使用不能です。

カメラの操作

SSDR

この機能はコントラストの大きな画面でも明暗両方を見やすく補正します。画面中の暗い部分は明るくし明るい部分は飽和しない様にして、画面全体が見やすくなる様に補正する機能です。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、ボタンを使用して'SSDR'を選択し、矢印が'SSDRを指すようにします。
2. ボタンを使用して、明るい場所と暗い場所の間のコントラストに応じてSSDRレベルを変更します。

SSDRオン

SSDRオフ

WHITE BAL

画面中の白い物体が白く映る様に、調整するホワイトバランス機能機能です。

1. MAIN設定メニュー画面が表示されたら、上下ボタンを使用して'WHITE BAL'を選択し、矢印が'WHITE BAL'を指すようにします。
2. 上下ボタンを使用して目的のモードを選択します。

※ 目的に合わせて、次の5つのモードのいずれかを選択します。

- ATW ：色温度が1,700°K~11,000°Kの場合に選択します。
- MANUAL ：
  ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。 まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。 スイッチをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスを微調整してからSETボタンを押します。

WHITE BAL MANUAL 設定	
▶ RED	IIIIII✳IIIIIIIIIIIIIII 114
BLUE	IIIIII✳IIIIIIIIIIIIII 93
戻る	

- AWC→SET ：撮像環境に最適なホワイトバランスに調整する機能で、カメラを白い紙の方に向けてSETボタンを押します。 撮像環境が変わった場合には、再調整を行ってください。
- OUTDOOR ：色温度が1,700°K～11,000°Kの場合に選択します。（ナトリウム光を含む）
- INDOOR ：色温度が4,500°K~8,500°Kの場合に選択します。

■ 次の条件では、ＡＴＷモードが適切に機能しないことがあります。その場合は、AWCモードを選択してください。

❶ 物体を囲む環境の色温度が制御範囲から逸脱している場合（晴天または夕方など）

❷ 物体の周囲の照明が薄暗い場合

❸ カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ＡＴＷモードの動作が不安定になることがあります。

逆光補正

厳しい逆光の状態でも背景から物体をはっきりと区別することを目的としています。

1. MAIN設定メニューの画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して'逆光補正'を選択し、矢印が'逆光補正'を指すようにします。

MAIN設定	
SSDR	ON↵
WHITE BAL	ATW
▶ 逆光補正	OFF
INTELLIGENCE	OFF

カメラの操作

2. 必要に応じて左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

- WDR (Wide Dynamic Range) :
  晴天下の屋外と相対的に暗い室内とが、同時に映る様なシーンでも、両方の画像が見える様に、ダイナミックレンジを拡大します。

WDR

OFF

  - LIMIT : WDRの感度レベルを選択します。 (LOW/MEDIUM/HIGH)
  - LEVEL: WDRの動作点となる輝度のレベルを選択します。(1~100)
  - 領域モード : 逆光の発生する環境状態に適したモードを選択します。
  - ANTI ROLLING : 周囲光の色変化等によるカラーローリング（画面全体の色調が変化する現象）を抑えます。

WDR SETUP	
▶ LIMIT	MIDDLE
LEVEL	ıııııııııı✳ıııııııı50
領域モード	INDOOR
ANTI ROLLING	OFF
戻る↵	

- BLC :
  逆光により見え難くなる領域がある場合ユーザーが見たい領域を指定する事でその領域を最良の画像に補正します。
  - LEVEL : 指定エリアの輝度を調整することができます。
  - 上/下/左/右 :
    指定エリアの位置を調整することができます。

BLC 設定		
▶ LEVEL		中
上	ııııı✳ıııııııııııı	25
下	ıııııııııııııı✳ıııı	90
左	ııııı✳ıııııııııııı	55
右	ııııııııııı✳ıııııı	120
戻る↵		

- HLC (ハイライト補正) :
  カメラに向かって街灯やヘッドライトなどの強い光が差し込む場合には、光に照らされた領域をマスクしてカメラを飽和から保護することができます。
  - LEVEL: HLCが動作する輝度を調整することができます。
  - LIMIT : HLCの動作する時間(全日/夜間)を指定することができます。
  - MASK COLOR/TONE :
    マスクエリアの色および輝度を指定することができます。(黒、赤、青、スカイブルー、ピンク)
  - 上/下/左/右 : 動作する領域の位置を調整することができます。

HLC 設定		
▶ LEVEL		中
LIMIT		NIGHT ONLY
MASK COLOR		BLACK
MASK TONE	ııııı✳ıııııııııııı	5
上	✳ıııııııııııııııııı	10
下	ıııııııııııııııııı✳	120
左	✳ıııııııııııııııııı	10
右	ıııııııııııııııııı✳	160
戻る↵		

- OFF : BLC機能を取り消します。

- SHUTTERメニューからMANUALまたはA.FLKモードを選択した場合、WDRモードは無効になります。
- WDRモードでは照明条件によって下記の現象が発生する場合には、OFFに設定してください。
  ❶ 色や明るさが不自然に変化する場合。
  ❷ 画像の明るいエリアでノイズが発生する。
- WDR機能の性能は、画像内の明るいエリアの大きさによって異なる可能性があるので、設置角度を最適に保って性能を十分に引き出すことをお勧めします。
- 暗い場合、明るい光が特定のサイズを超えないとHLCは有効になりません。(NIGHT ONLYモードの場合。)
- 逆光補正のレベル設定を増加させると不自然な画像になる場合があります。
- VPS(仮想プログレッシブスキャン)機能を使用すると、CCDの読取が異なるためWDRを同時に使用できなくなります。VPSをONに設定すると、WDRは自動的にFIXEDモードに設定されます。
- WDRから最適な性能を引き出すには、手動レンズではなくDCレンズの使用をお勧めします。
- BLCを有効化すると、光源の状態に応じてオートフォーカス操作を繰り返すばあいがあります。ONE-PUSHまたはMANUALモードでFOCUS 設定メニューを使用することをお薦めします。
- スマートズームとBLCを同時に使用することはできません。
- スマートズームを設定した後でBLCを設定すると、自動的にスマートズームが取り消されます。

INTELLIGENCE

動く物体を検知およびトレースすることができます。

MAIN設定	
SSDR	ON↵
WHITE BAL	ATW
逆光補正	OFF
▶ INTELLIGENCE	OFF
FOCUS↵	
露出補正↵	

- MOTION :
  検出するタイプを選択します。
  - OFF : 動きを検知しません。
  - DETECTION: 動く物体を検知します。この為、監視の精度を高めることが可能です。

INTELLIGENCE	
▶ MOTION	DETECTION
DETECT BOX	ON
ALARM OUT	ON
SMART ZOOM	OFF
DETECT 領域↵	
MASK 領域↵	
感度	IIIIIIIIII✳IIIIIIII 3
DET. SIZE	IIIIIIIIII✳IIIIIIII 3
戻る↵	

カメラの操作

- TRACKING : 画面上の移動体を検知しカウントする機能です。

- 領域モード : TRACKING機能の動作を指定　ON/OFFします。
- TYPE : LINEおよび領域の２種のﾌｪﾝｽを選択することが出来ます。各ﾌｪﾝｽを横切る物体を計測します。

TRACKING

▶ 領域モード\　　OFF
TYPE　　LINE
COUNT　　OFF
設定保存　　OFF
POSITION↵
戻る↵

- COUNT: 物体がフェンスに進入および退出した回数を表示します。
- 設定保存: 選択したフェンスの表示色をを指定します。
- POSITION: フェンスのタイプに応じて線型のフェンスまたはエリア型のフェンスの位置および検知する方向を指定します。

1) LINE FENCE

▶ 位置選択: 線の両端POS1/POS2から変更ポイントを選択します。

▶ 水平位置/垂直位置: SEL POSメニューで選択した変更ポイントの位置を指定します。

▶DIRECTION

- DIR 1: 指定したフェンスの線の左から右へ移動する物体を検知します。
- DIR 2: 指定したフェンスの線の右から左へ移動する物体を検知します。
- DIR 1/2: 指定したフェンスの線の右から左または左から右のいずれかの方向へ移動する物体を検知します。

▶戻る: フェンス位置設定を保存し、INTELLIGENCEメニューに戻ります。

LINE FENCE

▶ 位置選択　　POS1
水平位置　　25
垂直位置　　1
DIRECTION　　DIR1
戻る↵

2) AREA FENCE

▶ 位置選択:
POS1～POS4の中から変更ポイントを選択します。

▶ 水平位置/垂直位置:
位置選択メニューで選択した変更ポイントの位置を指定します。

▶ DIRECTION

・IN: 指定したフェンスエリアに進入する物体を検知します。
・OUT: 指定したフェンスエリアから脱出する物体を検知します。
・IN/OUT: 指定したフェンスエリアに進入するかフェンスエリアから退出する物体を検知します。

▶ 戻る: フェンス位置設定を保存し、INTELLIGENCEメニューに戻ります。

- FIXED/MOVED : 画面上の監視物体が消えたり、物体が画面上に持ち込まれたりすること検知します。

■ 次の状況では、固定/移動の検知が正しく動作しない場合があります。
- 複数の動きがランダムに連続して行われる場合
- 固定された物体が同じ位置で動き続ける場合
- 新たに出現した物体が、移動中の物体を隠す場合

- DETECT BOX : 指定したタイプで移動が検知されたボックス内の物体を表示します。
- ALARM OUT : 指定したタイプで物体の移動が検知された場合、カメラの背面板にあるコネクターを介して検知信号を出力します。
- SMART ZOOM :
  スマートズームは、MOTION DETECTIONと関連して動作します。SMART ZOOM機能が'ON'でありMOTION DETECTIONモードが'ON'であるときに動きを検知すると、ズームは終了位置の位置に移動します。ズームアクションが終了して'切替時間'が経過すると、ズームは'初期位置'の位置に戻ります。

SMART ZOOM 設定	
▶ 初期位置	X1
終了位置	X5
切替時間	5 秒
戻る↵	

- 初期位置 : '初期位置'項目の左右ボタンを動かして、'SMART ZOOM'アクションの終了後にズームが戻る位置を1倍から37倍までの中から選択します。
- 終了位置 : '終了位置'項目の左右ボタンを使用して、モーション検知中に使用するズーム位置を1倍から37倍の中から選択します。
- 切替時間 : '切替時間'項目の左右ボタンを使用して、ズームが'初期位置'位置に戻るまでの滞留時間を5秒から60秒の中から選択します。(5秒、7秒、10秒、15秒、20秒、30秒、40秒、60秒)

カメラの操作

- DETECT 領域 : モーション検知エリアを指定することができます。

- MASK 領域 :
  モーション検知の例外エリアを指定するには、このエリアにマスクをかけます。
  - AREA SEL: 目的のエリアを4つのエリアから選択します。
  - 領域: 選択したエリアを使用するかどうかを指定します。
  - 上/下/左/右:
    モーション検知の例外エリアの位置を調整することができます。

MASK 領域
▶ 領域 領域1
領域モード OFF
上 IIII✳IIIIIIIIIIIIII 30
下 IIIIIIIII✳IIIIIIIIII110
左 ✳IIIIIIIIIIIIIIIIII 25
右 IIIIIIII✳IIIIIIIIII110
戻る↵

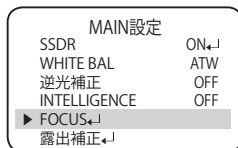
- 感度 : モーション検知の感度レベルを指定します。
  数値が低いほど、感度は上がります。

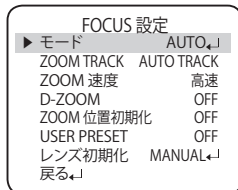
- DETECT SIZE : 画面上で検知する物体のサイズを指定します。
  数値が高いほど、サイズは大きくなります。

- 戻る : INTELLIGENCE設定を保存し、SPECIAL 設定メニューに戻ります。

FOCUS

MAIN設定メニューからFOCUSを選択し、SETを押します。 これで、フォーカスの動作条件を指定することができます。

MAIN設定	
SSDR	ON↵
WHITE BAL	ATW
逆光補正	OFF
INTELLIGENCE	OFF
▶ FOCUS↵	
露出補正↵	

- モード：最適なズームモードを選択できます。上下ボタンを使用して矢印インジケータを'モード'に移動します。

FOCUS 設定	
▶ モード	AUTO↵
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
ZOOM 位置初期化	OFF
USER PRESET	OFF
レンズ初期化	MANUAL↵
戻る↵	

- AUTO :
  - ズーム倍率に応じてフォーカスが自動的に調整されます。
  - AF（AUTO FOCUS）モードを選択し、SETを押します。 上下ボタンを使用して、ズームを実行します。

ZOOM 位置設定

↑ : TELE ↓ : WIDE

- ONE-PUSH :
  - ズームの実行後、フォーカスは自動的に1回調整されます。
  - ONE PUSHモードを選択して上下ボタンを使用して、ズームを実行します。左右ボタンを使用して、フォーカス調整します。

ZOOM/FOCUS 位置設定

↑ : TELE ↓ : WIDE
← : NEAR → : FAR

- MANUAL :
  - ズーム倍率に応じてフォーカスは手動で調整する必要があります。
  - MF（MANUAL FOCUS）モードを選択して上下ボタンを使用して、ズームを実行します。左右ボタンを使用して、フォーカスを調整します。

ZOOM/FOCUS 位置設定

↑ : TELE ↓ : WIDE
← : NEAR → : FAR

- ZOOM TRACK：
  MOTION DETECTIONメニューで'SMART ZOOM'項目について'ON'を選択してからSETボタンを押すと、'SMART ZOOM'機能の設定が変更されます。
  'ZOOM'項目で左右ボタンを使用して、'AUTO TRACK'または'TRACK'を選択してからSETボタンを押すと、ズームアクションフォーカス機能が有効になります。
  - AUTO TRACK : フォーカスのステータスを決定または調整するときにズームインします。
  - TRACK : カメラは確立されているフォーカストラックを移動します。
  - OFF : ズームレンズのみが移動します。

FOCUS 設定

	MODE	AUTO↵
▶	ZOOM TRACK	AUTO TRACK
	ZOOM 速度	高速

- ZOOM 速度：
  この機能を使用してズームトレース速度を設定します。 上下ボタンを使用してインジケータを'ZOOM 速度'に合わせて、左右ボタンを使用して目的のモードに設定します。

FOCUS 設定

	MODE	AUTO↵
	ZOOM TRACK	AUTO TRACK
▶	ZOOM 速度	高速
	D-ZOOM	OFF

- D-ZOOM：
  この機能を使用して2倍から16倍までの中から倍率制限を設定します。 上下ボタンを使用してインジケータを'D-ZOOM'に合わせて'D-ZOOM'を'ON'に設定してから、SETボタンを押して確認します。

FOCUS 設定

	MODE	AUTO↵
	ZOOM TRACK	AUTO TRACK
	ZOOM 速度	高速
▶	D-ZOOM	OFF
	ZOOM 位置初期化	OFF

D-ZOOM LIMIT 設定

▶	LIMIT	X2
	戻る↵	

■ DISが有効な場合はD-ZOOMを使用することはできません。

- ZOOM 位置初期化：
  電源がオンになったときにズームの初期位置が設定されている場合は、制御されたズーム位置まで移動します。

FOCUS 設定	
MODE	AUTO↵
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
▶ ZOOM 位置初期化	OFF
USER PRESET	OFF

- AUTO : 電源をオフにしてオンにすると、ズーム倍率レベルは電源がオフになる前に設定されていた元のレベルに設定されます。
- MANUAL : 1倍から37倍までのズーム倍率レベルを設定できます。

■ ズーム機能を設定すると5秒後にズーム位置が保存されます。

- USER PRESET：
  この機能を使用してユーザー指定の設定をプリセットします。 上下ボタンを使用してインジケータを'USER PRESET'に合わせて、左右ボタンを使用して'ON'に設定します。 SETボタンを押して確認します。
  - PRESET NO :
    128個までのプリセット設定がサポートされます。
  - SAVE : 設定したプリセットを保存します。
  - CLEAR : 設定したプリセットを消去します。
  - 戻る : FOCUS SETUPメニューまで戻ります。

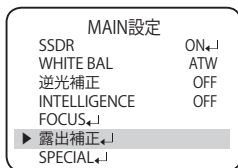
FOCUS 設定	
MODE	AUTO↵
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
ZOOM 位置初期化	OFF
▶ USER PRESET	OFF
レンズ初期化	MANUAL↵

- レンズ初期化：
  'レンズ初期化'項目で左右ボタンを使用して'Automatic'または'Manual'を選択してから、SETボタンを押します。
  - AUTO : 1日から7日までの事前選択した間隔に合せてレンズの初期化を行います。 これを設定した時刻からカウントダウンします。
  - Manual : SETボタンを押すとレンズは初期化を行います。

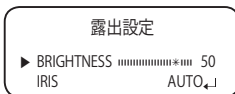
FOCUS 設定	
MODE	AUTO↵
ZOOM TRACK	AUTO TRACK
ZOOM 速度	高速
D-ZOOM	OFF
ZOOM 位置初期化	OFF
USER PRESET	OFF
▶ レンズ初期化	MANUAL↵
戻る↵	

- 戻る : 現在の設定を保存し、親メニュー（MAIN設定）に戻ります。

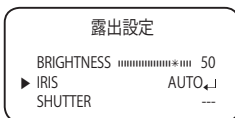
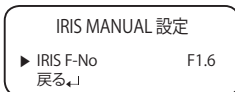
露出補正

MAIN設定メニューから露出補正を選択し、SETを押します。 これで、露出設定を変更することができます。

- BRIGHTNESS：
  この機能を使用して画像の輝度を調整します。上下ボタンを使用してインジケータを'BRIGHTNESS'に合わせます。 次に、画面上の変更を確認しながら左右ボタンを使用して輝度レベルを調整します。 目的のレベルが得られたら戻るを指定します。

露出設定

▶ BRIGHTNESS IIIIIIIIIIIIIIII✳IIII 50
IRIS AUTO

- IRIS：'IRIS'として'AUTO'または'MANUAL'を設定します。
  上下ボタンを使用してインジケータを'IRIS'に合わせて、左右ボタンを使用して目的の絞りモードを選択します。

露出設定

BRIGHTNESS IIIIIIIIIIIIIIII✳IIII 50
▶ IRIS AUTO
SHUTTER ---

- AUTO: 絞りは照明に対して自動的に有効になります。
- MANUAL：手動の絞り設定。
  左右ボタンを使用して'IRIS'を'MANUAL'に設定し、SETボタンを押します。 画面上の変更を確認しながら左右ボタンを使用して絞りレベルを調整します。

IRIS MANUAL 設定

▶ IRIS F-No F1.6
戻る

- SHUTTER：シャッター速度を調整して画像の輝度を制御します。
  上下ボタンを使用してインジケータを'SHUTTER'に合わせます。 左右ボタンを押して目的のシャッターモード（A.FLK、ESC、MANUAL）を選択します。

露出設定	
BRIGHTNESS IIIIIIIIIIIIIII*IIII	50
IRIS	AUTO↵
▶ SHUTTER	---
AGC	HIGH

- A.FLK (1/100) : AC100V/50Hz地域で、フリッカーの無い画像が得られます。
- ESC : 自動的にシャッター速度を切換え最適な明るさに調整します。
  自動動作が可能なのは、IRISがMANUALに設定されている場合に限られます。
- MANUAL : 手動のシャッター速度設定。
  - MANUALモードでは最適なシャッター速度を指定する必要があります。1/60から1/120,000（NTSC）までの中から選択します。

SHUTTER MANUAL 設定	
▶ SHUTTER VAL	1/60
戻る↵	

* 'Sens-Up'モードは手動で設定できます（2倍から512倍まで）。

! ■ シャッターモードがESCに設定された状態でカメラが直接蛍光灯に向いている場合、ピクセルが破損する可能性があります。 これを防ぐには、絞りモードをAUTOに切り替えるか、シャッター速度を1/60に固定するか、必要に応じてカメラの方向を調整してください。

- AGC（自動ゲイン調整）：
  GAINを選択し、左右ボタンを使用してモードをOFF、LOW、MEDIUM、HIGH、またはMANUALに切り替えます。

露出設定	
BRIGHTNESS IIIIIIIIIIIIIII*IIII	50
IRIS	AUTO↵
SHUTTER	---
▶ AGC	HIGH
SSNR3	MEDIUM

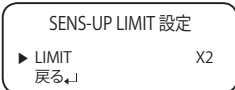
GAIN MANUAL 設定	
▶ AGC VAL	5dB
戻る↵	

- SSNR(Samsungスーパーノイズリダクション)：モードに応じて、低コントラストの画面のバックグラウンドノイズが軽減されます。 ノイズは、OFF、LOW、MEDIUM、HIGHの順に軽減されます。 SSNR3を選択し、左右ボタンを使用してモードをOFF、LOW、MEDIUM、またはHIGHに切り替えます。
  – LOW : 低いノイズリダクション
  – MEDIUM : 中程度のノイズリダクション
  – HIGH: 高いノイズリダクション
  – OFF : 無効

■ 'AGC'をOFFに設定すると'SSNR3'の機能は停止します。

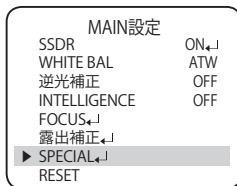
- SENS-UP：この機能により、夜間または低照度条件下でも鮮明な画像が保証されます。

SENS-UP LIMIT 設定	
▶ LIMIT	X2
戻る↵	

  ❶ 上下ボタンを使用してインジケータを'SENS-UP'に合わせます。
  ❷ 左右ボタンを使用して'SENS-UP'を目的のモードに設定します。
    - AUTO : 夜間または低照度条件下で使用する場合にこのモードを選択します。
    - OFF : 無効

■ 露出補正のGAINが使用されていない場合、SENS-UP（感度アップ）は"---"に設定されます。
■ 'AUTO'モードに設定すると、ユーザーはシャッター速度を調整することによりSENS-UPの制限を設定できます（例: 2倍、4倍、...32倍、64倍、128倍、256倍、512倍）。
■ SENS-UPを有効にするとカメラの感度が上がるため、ノイズや残像現象が増えることがあります。 それで正常です。

- 戻る：MAIN設定メニューまで戻ります。

SPECIAL

MAIN設定	
SSDR	ON↵
WHITE BAL	ATW
逆光補正	OFF
INTELLIGENCE	OFF
FOCUS↵	
露出補正↵	
▶ SPECIAL↵	
RESET	

- VPS（仮想プログレッシブスキャン）
  この機能により、垂直解像度が480本の鮮明な画像となり、高画質の録画やインターネット転送に適しています。ライブ画像は、30ﾌﾚｰﾑ/秒のコマ飛びになります。

SPECIAL設定	
▶ VPS	OFF
PRIVACY	OFF
DAY/NIGHT	AUTO↵

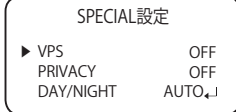
  – OFF : ビデオの録画システムを2:1インタレーススキャンに切り替えます。
  – ON : ビデオの録画システムを仮想プログレッシブスキャンに切り替えます。

- PRIVACY : 画面上で表示しないエリアを非表示にします。

  ❶ SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用し、矢印が'PRIVACY'を指すようにします。

  ❷ 4つの方向ボタンを使用してモードを設定します。

PRIVACY AREA SETUP	
▶ 領域	領域 1
領域モード	ON
MASK COLOR	GREEN
TRANSPARENCY	OFF
位置選択	L_TOP
水平位置	✳IIIIIIIIIIIIIIIII 10
垂直位置	✳IIIIIIIIIIIIIIIII 10
戻る↵	

  - 領域 : 最大12の領域を目的に応じて指定できます。
  - 領域モード : AREA SELで選択されたエリアを使用するかどうかを決定します。
  - MASK COLOR : 選択したエリアの塗りつぶしに使用される色を6色（緑、赤、青、黒、白、灰色）から選択できます。
  - TRANSPARENCY : 選択したエリアに透明度持たせるかどうかを指定します。
  - 位置選択/水平位置/垂直位置 : 選択したエリアの位置を変更します。
  - 戻る : PRIVACY設定を保存し、SPECIAL 設定メニューに戻ります。

- DAY/NIGHT：周囲の明るさ応じて自動的にカラー/白黒を切換て表示します。

❶ MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して'DAY/NIGHT'を選択し、矢印が'DAY/NIGHT'を指すようにします。

SPECIAL設定	
VPS	OFF
PRIVACY	OFF
▶ DAY/NIGHT	AUTO↵
DIS	OFF
SYNC	内部同期

❷ 目的の画像表示に応じて、左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

- AUTO : このモードは日中の環境では'Color'に切り替えられますが、周囲の照度が低い場合は、'B/W'モードに切り替えます。AUTOモードに関する切替時間または速度を設定するには、SETボタンを押します。
- COLOR : 画像は常にカラーで表示されます。
- B/W : 画像は常に白黒で表示されます。

- 切替時間 : 次の中から、DAY/NIGHTの切替り遅延時間を選択できます。
  → 5,7,10,15,20,30,40, 60(秒)
- DURATION : DAY/NIGHTの切替る明るさを選択できます（ルックス）。

	Color → B/W	B/W → Color
Fast	2.5Lux	4Lux
Slow	1Lux	6Lux

※ ゲインがHIGHに設定されている場合

- EXT : このモードでは、外部信号により切替ることができます。

■ 照明の明るさは設置環境によって変化することがあります。

- DIS : DISモードではカメラの振動等による揺れを補正し、改善する機能です。

SPECIAL設定

VPS	OFF
PRIVACY	OFF
DAY/NIGHT	AUTO↵
▶ DIS	OFF
SYNC	内部同期

■ DISの動作中にD-ZOOMは動作しません。

- SYNC : 内部およびラインロックの2種類の同期モードを使用できます。
  ラインロックモードでは、カメラのビデオ出力信号がAC100Vの周波数と同期化されます。但し、SCZ-3370NDは、INTのみ。

  - 内部同期 : 内部同期
  - LL : 外部ラインロック同期
  - 'LL'を選択すると、AC電源に対する位相を設定することができます。SETボタンを押します。
  - 0から359の間で目的の位相に調整できます。

- 通信設定 :
  外部の制御デバイスを使用してカメラを制御している場合は、この機能カメラの各種通信条件を設定します。

通信設定

▶ PROTOCOL	SAMSUNG-T
カメラ ID	IIIIIIIIIIIIIIII✳IIII 1
BAUD RATE	9600
通信モード	8-N-1
データ受信	未使用
戻る↵	

1. SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用し、矢印が'通信設定'を指すようにします。
2. SETボタンを4方向に動かしてモードを設定します。
   - PROTOCOL : 通信プロトコルを選択します。(SAMSUNG-T/PELCO-D/PELCO-P/ BOSCH/HONEYWELL/VICON/AD/SAMSUNG-E/PANASONIC)
   - カメラ ID : カメラの識別番号を決定します（0〜255）。
   - BAUD RATE : 2400/4800/9600/19200/38400/57600/1152000 bpsを選択できます。.
   - 通信モード : パリティビットとして、NONE、EVEN、またはODDを選択できます。
   - データ受信 : カメラに通信制御コマンドを送信した場合に、ACK信号を送るかどうかを選択できます。

- IMAGE 機能：画質や特殊機能を調整します。

❶ MAIN設定メニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用して'IMAGE 機能'を選択し、矢印が'IMAGE 機能'を指すようにします。

❷ 左右ボタンを使用して目的のモードを選択します。

SPECIAL設定	
VPS	OFF
PRIVACY	OFF
DAY/NIGHT	AUTO↵
DIS	OFF
SYNC	内部同期
通信設定↵	
▶ IMAGE 機能↵	
DISPLAY↵	
戻る↵	

- PIP（ピクチャーインピクチャー）：PIPを使用すると、メイン画像とともにメイン画像の縮小バージョンを表示することができます。縮小した画像の位置は目的に応じて調整することができます。
- 水平反転：画面上の画像を水平に反転することができます。

IMAGE 設定	
▶ PIP	OFF
水平反転	OFF
垂直反転	OFF
SHARPNESS	ON↵
MONITOR	LCD↵
戻る↵	

- 垂直反転：画面上の画像を垂直に反転することができます。
- SHARPNESS：
この値を大きくすると、画像の輪郭が強調され、明確になります。
- Monitor：モニターに適したビデオの設定値に調整してください。

- LCD: LCDモニターを使用するときは、このメニュー項目を選択してください。

LCD MONITOR 設定		
▶ GAMMA		0.55
PED LEVEL	IIIIIIIIII✳IIIIIIIIII	25
COLOR LEVEL	IIIIIIIIII✳IIIIIIIIII	50
RESET		
戻る↵		

- CRT：CRTモニターを使用するときは、このメニュー項目を選択してください。

CRT MONITOR 設定		
▶ PED LEVEL	IIIIIIIIII✳IIIIIIIIII	25
COLOR LEVEL	IIIIIIIIII✳IIIIIIIIII	50
RESET		
戻る↵		

- USER : 標準ではないモニターを使用するときは、このメニュー項目を使用してください。 サブメニューでガンマ値、PEDレベル、およびカラーゲインを変更することができます。

USER MONITOR 設定
▶ GAMMA 0.55
PED LEVEL IIIIIIIII*IIIIIIIII 25
COLOR LEVEL IIIIIIIII*IIIIIIIII 50
RESET
戻る↵

- 戻る : SPECIALメニューに戻ります。

- DISPLAY
  - カメラ TITLE
    カメラのタイトルを指定した場合、このタイトルがモニターに表示されます。

SPECIAL設定

VPS OFF
PRIVACY OFF
DAY/NIGHT AUTO↵
DIS OFF
SYNC 内部同期
通信設定↵
IMAGE 機能↵
▶ DISPLAY↵
戻る↵

❶ SETボタンを押してMAIN設定メニューを表示し、上下ボタンを使用して矢印インジケータを'カメラ TITLE'に移動します。

❷ 上下ボタンを使用して'カメラ TITLE'を'ON'に設定します。

DISPLAY 設定
▶ カメラ TITLE OFF
カメラ ID OFF
カメラ INFO OFF
ZOOM 倍率 OFF
OSD COLOR WHITE
LANGUAGE 日本語
戻る↵

■ 'カメラ TITLE' 機能を'OFF'に設定すると、名前はモニター内に表示されなくなります。

❸ SETボタンを押します。

CAMERA TITLE 設定

A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z
- . 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
←→ CLR POS END
_ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _ _

❹ 方向ボタンを使用して目的の文字に移動し、SETを押します。
このプロセスを繰り返して最大15文字を入力します。

■ 誤りの修正
'CLR'までカーソルを移動してから SETボタンを押して、エントリ全体を消去します。 1文字を修正するには、左右ボタンを使用して修正する文字の上にカーソルを合わせて、入力する文字を選択した後でSETボタンをクリックします。

❺ タイトルを入力し、カーソルを'POS'に移動して、SETボタンを押します。入力したタイトルが画面に表示されます。 4つの方向ボタンを使用してタイトルを画面に表示する位置を選択し、SETボタンを押します。
位置が決まったら、次のいずれかを選択します。

- カメラ ID : 画面の左上隅にカメラIDを表示します。
- カメラ INFO : 画面にカメラ情報を表示します。
- ZOOM 倍率 : この機能を使用して現在のズーム倍率レベルを画面に表示します。 上下ボタンを使用してインジケータを'ZOOM 倍率'に合わせます。 次に、左右ボタンを使用してONに設定します。
- OSD COLOR : フォントの色（白、黄色、緑、赤、青）を選択できます。
- LANGUAGE : 必要に応じてメニュー言語（韓国語、英語、フランス語、スペイン語、日本語、ポルトガル語、台湾語）を選択できます。但し、SCZ-3370NDは、日本語のみ。
- 戻る : この項目を選択すると、SPECIALメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

RESET

カメラを工場出荷時の条件にリセットします。
通信、言語およびモニターの設定は初期化されません。

戻る

MAIN設定メニューを終了します。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。
ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	解決策
画面に何も映らない。	▶ カメラの電力に適合した電力で供給されていることを確認してください。 ▶ ビデオケーブルがカメラのビデオ出力ジャックと正しく接続されているかどうかを確認してください。
画面に表示される画像が薄暗い。	▶ レンズが汚れている場合、清潔な布で傷が付かない様に拭いてください。汚れが取れない場合は、レンズを交換して下さい。 ▶ モニターの輝度等を正しい状態に設定してください。 ▶ カメラが非常に強い光に晒されている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	▶ モニターのコントラスト機能を調整してください。 ▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω/Hi-z(ハイインピーダンス)を正しく設定してください。
カメラが正常に動作せず、カメラの表面が熱くなっている。	▶ カメラを正しい電源に接続していることを確認してください。
SENS-UP機能が機能しない。	▶ 露出設定メニューのAGCが'OFF'になっていませんか。'ON'であることを確認してください。 ▶ 露出設定のSHUTTERが'A.FLK'または'MANUAL'になっていませんか。この設定時は動作しません。
モーション検知機能が動作しない。	▶ SPECIALメニューからインテリジェントビデオモードがONに設定されていませんか。この時は動作しません。
色が正しくない。	▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	▶ カメラの方向が太陽に向いていないことを確認してください。向いている場合は向きを変えて下さい。
同軸通信が使用不可能な場合	▶ カメラとモニターが推奨距離の範囲内に設置されていることを確認してください。 ▶ 推奨設置距離を上回っている場合は、COAXITRONと同等のビデオアンプを使用してください。
レンズの焦点が合わない。	▶ OSD画面にて、フォーカスモードがONE-PUSH/Manualに設定されている場合、自動で調整は行いません。

仕様

	SCZ-3370N	SCZ-3370ND
ビデオ		
撮像素子	1/4インチダブルスキャンExview CCD	
合計画素数	811（H）x508（V）	
有効画素数	768（H）x494（V）	
走査システム	2 : 1インターレース、プログレッシブ	
同期	内部/ラインロック	内部
発信周期	H: 15.734KHz / V: 59.94Hz	
水平解像度	カラー: 600 TVライン、白黒: 700TVライン	
最低照度	カラー: 0.7ルックス（F1.6、50IRE）、0.001ルックス（感度アップ、512X） 白黒: 0.07ルックス（F1.6、50IRE）、0.0001ルックス（感度アップ、512X）	
S/N（Y信号）	52dB（AGCオフ、重み付き）	
ビデオ出力	CVBS: 1.0Vp-p/75Ωコンポジット	
レンズタイプ		
焦点距離（ズーム倍率）	3.5~129.5mm（光学37倍速）	
最大口径比	1:1.72（広角）~3.94（望遠）	
画角	H: 55.5°（広角）~1.59°（望遠）/ V: 42.5°（広角）~1.19°（望遠）	
最短物体距離	1.5m	
フォーカス制御	自動/手動/ワンプッシュ	
ズーム動作速度	2.8秒（広角~望遠）	
操作関連		
画面表示	多言語対応 英語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、台湾語、韓国語	日本語
カメラタイトル	オフ/オン（15文字表示）	
昼/夜	自動（ICR）/外部/カラー/白黒	
逆光補正	オフ/HLC/BLC/WDR	
ワイドダイナミックレンジ	128倍	
コントラスト強調	SSDR（オフ/オン）	
デジタルノイズリダクション	SSNRIII（オフ/低/中/高）	
デジタル手ブレ補正	オフ/オン	
プライバシーマスク	オフ/オン（12のプログラム可能ゾーン）	

	SCZ-3370N	SCZ-3370ND
感度アップ（フレームインテグレーション）	2x ~ 512x	
ゲイン調整	オフ/低/中/高/手動	
ホワイトバランス	ATW/屋外/屋内/手動/AWC（1,700K°~11,000K°）	
電子シャッター速度	1/60~1/120,000秒	
デジタルズーム	オフ/オン（1x~16x）	
反転/ミラー（逆再生）	オフ/H-Rev/V-Rev/HV-Rev	
VPS	オフ/オン	
インテリジェントビデオ検知	固定、移動、モーション検知、トラッキング、フェンス、カウント	
アラーム	出力1	
通信	COAXIAL制御（SPC-300互換）、RS-485 プロトコル	
プロトコル	同軸: Pelco-C（Coaxitron） RS-485: Samsung-T、Samsung-E、Pelco-D、Pelco-P、Panasonic、Bosch、Honeywell、Vicon、AD	
環境関連		
動作温度/湿度	-10~+50°C（+14°F~+122°F）/90%RH未満	
電力関連		
入力電圧/電流	デュアル（24VAC±10%および12VDC±10%）	12VDC±10%
消費電力	最大6.1W	最大4.7W
メカニカル		
色/材質	黒、シルバー/アルミニウム	
寸法(WxHxD)	68 x 68 x 145 mm	68 x 68 x 122 mm
重量	500g	410g

※ 製品の改良のため、この製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

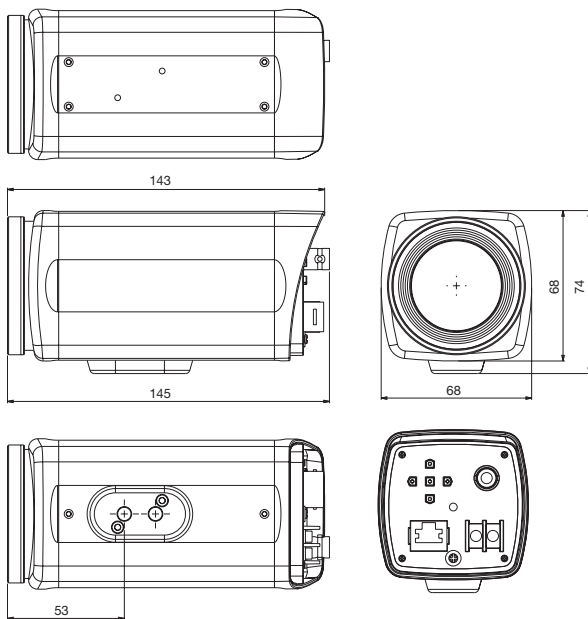
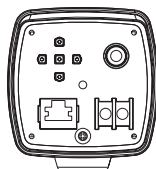
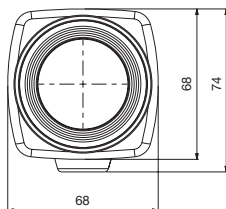
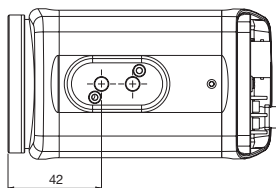
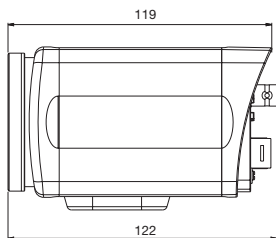
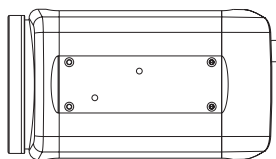
仕様

寸法

<SCZ-3370>

単位: mm（インチ）

寸法

<SCZ-3370D>

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

		Byte1	Byte2	Byte3	B yte
コマンド名	コマンドパケット	STX	CAM ID	HOST ADDR	CA
	戻りパケット	STX	CAM ID	HOST ADDR	RE
	Checksum	チェックサム計算: Byte2からByte9までの合計の単項演算 例) チェックサム＝~ (BYTE2+BYTE3+...+BYTE8+BYTE9)			
リセット	機能	すべてのデータを工場初期値に戻します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
フォーカスファー	機能	フォーカスレンズをフォーカスファーに移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
フォーカスニア	機能	フォーカスレンズをフォーカスニアに移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
広角ズーム	機能	ズームレンズを広角方向に移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
望遠ズーム	機能				
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
ズームダイレクト	機能				
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	パラメータ	P1、P2: 光学ズーム＝0000h~064Dh P3: デジタルズーム＝((256*10)/倍率)-1 例) D-ZOOM 1.1x: P3=E7h＝ ((256*10)/11)-1、倍率11は1.1倍を意味します。 D-ZOOM 2.0x: P3=7Fh＝ ((256*10)/20)-1、倍率20は2.0倍を意味します。			

3	B yte4 ll Byte5	Byte 6	Byte7	Byte8	Byte9	Byte10	Byte11
DR	CAMMAND	DATA3	DATA4	DATA5	DATA6	ETX	CHECKSUM
DR	RESPONSE	DATA3	DATA4	DATA5	DATA6	ETX	CHECKSUM
単項演算 YTE9)							
DR	000Fh	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	000Fh	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
す。							
DR	0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
。							
DR	0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0040h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0040h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0020h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0020h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	00FFh	P1	P2	P3	00h	AFh	CHECK SUM
DR	00FFh	P1	P2	P3	00h	AFh	CHECK SUM

。

。

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

AF停止	機能	ズームおよびフォーカスレンズの移動を停止します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
ワンプッシュAF	機能	オートフォーカスを無条件で実行します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
ユーザープリセットの保存	機能	現在のユーザープリセットの設定情報を保存します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	パラメータ	P1: 00h（USER PRESET 1）~80h（USER PRESET 128）			
ユーザープリセットの実行	機能	選択したユーザープリセットを実行します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	パラメータ	P1: 00h（USER PRESET 1）~80h（USER PRESET 128）			
ユーザープリセットのクリア	機能	選択したユーザープリセットをクリアします。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	パラメータ	P1: 00h（USER PRESET 1）~80h（USER PRESET 128）			
OSDメニューのオン/オフ	機能	画面にOSDメニューを表示します。 OSDメニューをクリアし、現在のメニュー設定を保存します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	パラメータ	P1 : 00h = ON 01h = OFF			
OSDメニュー上	機能	OSD矢印を上に移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0

す。

DR	0000h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0000h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

DR	0045h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0045h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

す。

DR	0003h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
DR	0003h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

)

DR	0007h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
DR	0007h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

)

DR	0005h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
DR	0005h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

)

保存します。

DR	00B1h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM
DR	00B1h	P1	00h	00h	00h	Afh	CHECK SUM

DR	0008h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0008h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM

SAMSUNG-Tプロトコルコマンドの説明

OSDメニュー下	機能	OSD矢印を下に移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
OSDメニュー左	機能	OSD矢印を左に移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
OSDメニュー右	機能	OSD矢印を右に移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	00
OSDメニュー設定	機能	内部メニューに移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0
OSDメニューESC	機能	上部メニューに移動します。			
	コマンドパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0[illegible]
	戻りパケット	A0h	CAM ID	HOST ADDR	0[illegible]

DR	0010h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0010h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0004h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0004h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0002h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0002h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0100h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM
DR	0200h	00h	00h	00h	00h	AFh	CHECK SUM